

# 株主通信 2024

2023年3月1日 - 2024年2月29日 (第42期)

# Mission

社是

## 技術で社会に貢献する

ソーバルグループにとって、最大の資源は人材です。  
常に新しい技術に挑戦し続け、豊かで夢のある社会づくりに貢献し、  
技術者が輝く会社を目指します。



# Vision

経営ビジョン

新しい技術や分野を積極的に取り入れ、  
暮らしを豊かにするビジネスを実現する

お客様の「満足」から、  
一歩先の「感動」を提供できる企業となる

エンジニアの挑戦を支援し、  
「エンジニアがワクワクできる会社」日本一を目指す



# Value

ソーバル人の行動規範

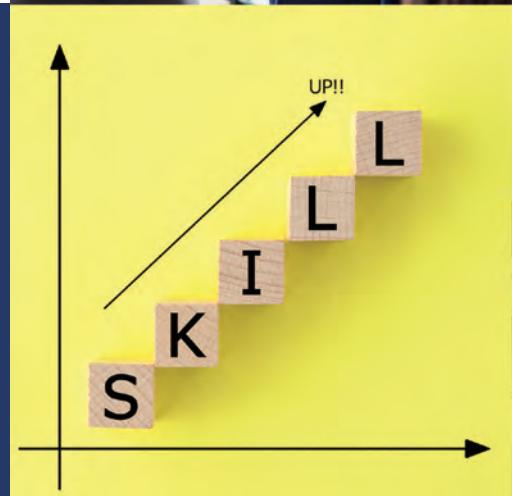
仕事の中に喜び、楽しみを。

人にやさしく、仕事に厳しく

お客様の未来を考えます

新たな技術に挑戦し、日々前進

未来に誇れる自分であれ





## 目次

2. Mission・Vision・Value
3. 目次
- 4 - 5. 代表メッセージ
- 6 - 7. ソーバルグループ概要
8. 2024年2月期の概況
9. 2025年2月期の展望
10. 売上構成比／売上・利益推移
11. トピックス／中期経営計画
12. 業績ハイライト
13. 財務諸表
14. 株主優待／配当金
15. 株式基本情報／株主情報
16. 会社情報／株式手続き

# 代表メッセージ



企業にとって、最大の資源は人材です。

ソーバル株式会社

代表取締役社長

しいづ あつし  
推津 敦

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

企業にとって、最大の資源は人材です。

私どもは、高い意識と技術をもつ人材が充実した環境で働くことが価値あるテクノロジーを生み出す近道だと考え、社員が技術力と人間力を高めることのできる環境を一貫して構築してまいりました。

ソーバルは、ソフトウェア開発を行うエンジニアリング企業として、「WEB・クラウド開発」「アプリケーション開発」「組込み開発」「マニュアル制作・WEB制作」など多岐にわたるソリューションを提供し、国内でも有数の独立系開発企業として評価をいただけるようになりました。さらに、「AIを成長の柱に」を主要施策とし、最先端技術への取り組みにも力を注いでおります。引き続き、システム開発をワンストップ受注できるこれまでの体制をより一層充実させるために、グループ各社との協業や人的・技術的交流を通してシナジー効果を日々追求してまいります。

デジタル変革によって、私たちは利便性や効率性をスピーディに追求できる時代に生きています。その結果、新しく生まれてくるモノやサービスもあれば、無くなったり、形を変えたりなど、あらゆる領域で大小様々な変化に直面しています。

弊社は、こうした新たな未来に向かって、「技術で社会に貢献する」という1983年創業以来の理念のもと、私たちの社会にとって真に豊かな時代の創造を目的として、更なる高みを目指してまいります。

そして、お客様のご要望がますます多様化・高度化している時代にあっても、長年にわたって築き上げた信頼と実績をベースに、品質の高いサービスを提供してまいります。

これからもソーバルを取り巻くステークホルダーの皆様の期待に応えるべく、どのような環境下であっても、お客様へ感動を提供できるよう常に新しい技術に目を向け、事業の継続に邁進してまいります。

今後とも引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# ソーバルグループ概要

## ソーバル株式会社

～組込みからAIまで、豊富な開発実績と最先端技術への取り組み～



社名	ソーバル株式会社
本社所在地	東京都品川区北品川5-9-11
設立	1983年1月
資本金	2億1,426万円
事業内容	エンジニアリング事業 アプリケーション開発、WEB・クラウド開発、組込み開発（ソフトウェア・ハードウェアの設計開発）、マニュアル制作
主な開発実績	WEB・クラウドシステム、企業向け業務系システム、スマホアプリ、デジタルカメラ・ビデオ、自動運転、医療統計解析、各種マニュアル制作、AIデータ分析 など

ソーバルは、国内でも有数の「組込み開発」の独立系企業として高い評価をいただくとともに、「WEB・クラウド開発」「アプリケーション開発」「組込み開発」「マニュアル制作・WEB制作」など多岐にわたるソリューションを提供しております。

さらに、「AIを成長の柱に」を主要施策とし、最先端技術への取り組みにも力を注いでおります。

社会環境の急速な変化にともなって、求められる技術も多様に進化を遂げています。

ソーバルは、社員一人ひとりがこれら新旧の技術を日々追求し糧とすることによって、お客様の様々な声に応える柔軟性と機動力を発揮しております。

## 株式会社コアード

～企業向け業務システム開発をワンストップで受注～

# CORERD

株式会社コアード

社名	株式会社コアード
本社所在地	東京都港区芝浦4-16-23
設立	1987年2月
資本金	2,000万円
事業内容	コンピュータソフトウェアの開発 コンピュータシステムのコンサルティング

コアードは、企業が使用する「業務システム」の開発を得意とし、富士通グループの戦略パートナーとして、流通業を中心に出版・印刷業界から、住宅・不動産、金融、スポーツ分野など幅広い業界で必要とされるシステム開発を行っております。品質第一主義を掲げ、上流工程から下流工程まで一括で仕事を請負い、長年の開発業務で培った技術力と人間力でお客様のご要望に応えます。



## アンドールシステムサポート株式会社

～ニッチな強みを持つシステム開発の老舗企業～



システムに挑戦する

アンドールシステムサポート株式会社

社名	アンドールシステムサポート株式会社
本社所在地	東京都品川区南品川2-15-8
設立	1969年11月
資本金	9,900万円
事業内容	ハードウェア設計・開発・製造 ソフトウェア等の受託開発

アンドールシステムサポートは、ユーザーのシステム開発を支援する「システムサポート」という業務を、日本で初めて企業化した会社です。設計・開発のみの受託開発だけでなく、企画～設計・開発～生産～品質管理といった製品開発のすべての工程を担うODM事業を核に、物流システム開発事業、JTAGテスト・Pickeringテスト・Arm純正開発ツール等、各種ツール販売事業を展開しています。



# 2024年2月期の概況 (2023年3月1日～2024年2月29日)

## 2024年2月期・実績 (対前年同期比)

売上高 **8,169**百万円  
(+0.1%)

営業利益 **670**百万円  
(+4.3%)

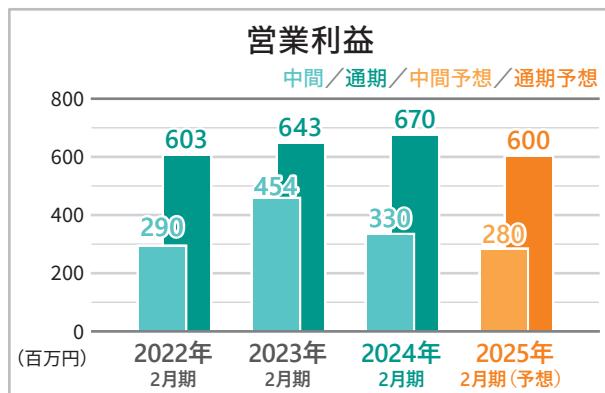
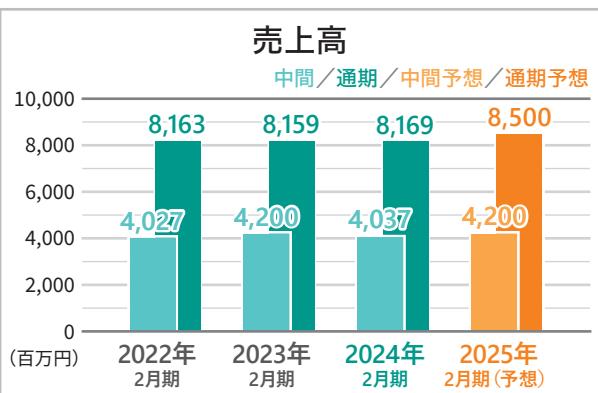
経常利益 **691**百万円  
(+5.2%)

親会社株主に帰属  
する当期純利益 **513**百万円  
(-24.8%)

- ・ 2023年2月期に品質評価事業(売上規模約10億円)の譲渡を行うも、売上高は概ね同年並みを維持
- ・ グループ全体での稼働及び生産性の向上に努めた結果、営業利益は前年から増加

当社グループは中長期的な成長を見据えた人材・技術力の強化に取り組み、積極的な採用活動の継続とともにプロジェクトマネージャーとDXが推進できる技術者の育成に努めてまいりました。また高水準の稼働率維持と一括受託案件獲得の強化並びに契約単価の改定等の施策を進め、その結果、注力するWEB/アプリケーション及び業務系システム開発分野の売上高は前年比約9%伸長しました。引き続きこれらの施策を進め、競合優位性を高めてまいります。一方で、組込み分野においては期初に一部顧客との間で瑕疵対応が生じ対応にリソースを要したため、売上高が伸び悩みました。中間期までに問題は解決し当該プロジェクトについて継続受注を獲得するとともに、新規顧客の獲得など営業強化にも努めましたが、同分野の売上高は前年比約1%減となりました。

また、2022年8月1日付で「品質評価」サービス事業に属する権利義務を、株式会社AGESTへ会社分割(簡易吸収分割)の方法により承継しましたが、売上高は概ね前年並みを維持し、グループ全体での稼働及び生産性の向上に努めた結果、営業利益は前年から増加しました。



(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を2023年2月期の期首から適用しており、2023年2月期以降に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

# 2025年2月期の展望 (2024年3月1日～2025年2月28日)

## 2025年2月期・予想

(対前年同期比)

売上高 **8,500**百万円  
(+4.0%)

営業利益 **600**百万円  
(-10.6%)

経常利益 **610**百万円  
(-11.8%)

親会社株主に帰属  
する当期純利益 **420**百万円  
(-18.2%)

- ・ 生産性の向上と、人材価値の向上に取り組む
- ・ 増収減益の予想

### 増収要因:

引き続き市況は堅調で、人材の育成や業務ローテーションも順調

### 減益要因:

優秀な人材の確保や育成、ベースアップ対応で人件費が大幅に増加  
パロニム社(資本業務提携)へのエンジニア提供により売上が減少

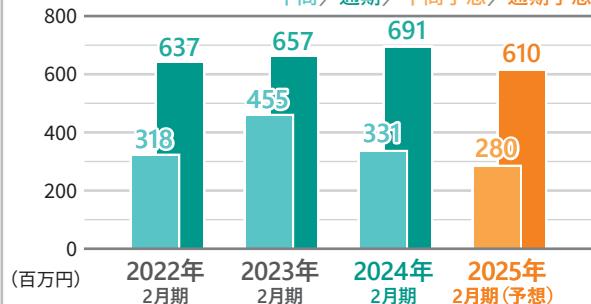
当社グループは、2023年2月期から2027年2月期の5か年を対象とした中期経営計画を推進しており、次期はその3年目に当たります。次期についても主力であるWEB/アプリケーション及び業務系システム開発分野における顧客ニーズは底堅く推移する見通しです。

一方で、AI分野を今後の成長の柱に据えており、2024年3月19日にリリースした『動画コマース領域でのAI活用のためパロニム社と資本業務提携』のとおり、新しい買物体験を実現する動画ソリューションの課題解決に取り組んでまいります。

また、持続的な成長に向けた人材投資を強化し、優秀な技術者の確保と上流工程への参画や顧客への提案活動ができる技術者並びにDXが推進できる技術者の育成強化に注力してまいります。

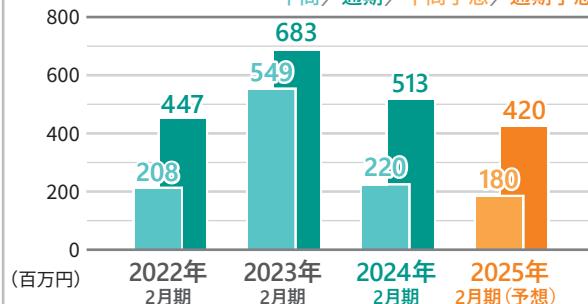
## 経常利益

中間/通期/中間予想/通期予想



## 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益

中間/通期/中間予想/通期予想

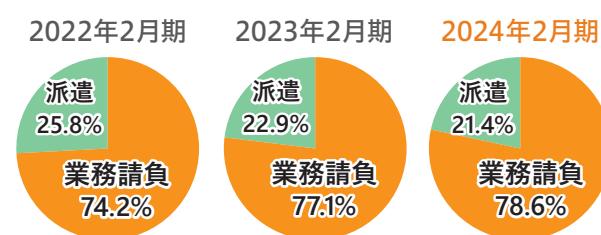


# 売上構成比／売上・利益推移

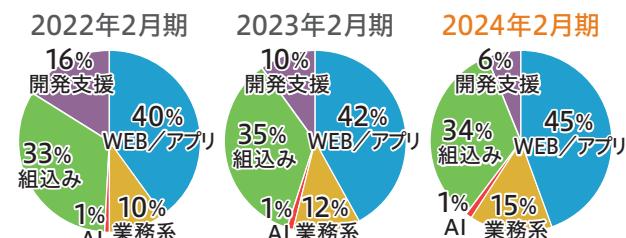
## 売上構成比：顧客別

順位		2022年 2月期	2023年 2月期	2024年 2月期
1	ソニーグループ	31.0%	32.2%	31.4%
2	富士通グループ	11.7%	13.7%	13.6%
3	キャノングループ	7.7%	9.2%	9.5%
4	リクルートグループ	4.4%	5.2%	6.1%
5	日立グループ	3.5%	3.5%	3.9%
6	トヨタグループ	3.2%	3.0%	3.2%
7	三菱電機グループ	1.1%	1.4%	2.1%
8	首都高速道路技術センター	0.2%	2.2%	2.1%
9	オムロングループ	1.7%	1.6%	2.0%
10	その他	35.5%	28.0%	26.1%

## 売上構成比：契約種別

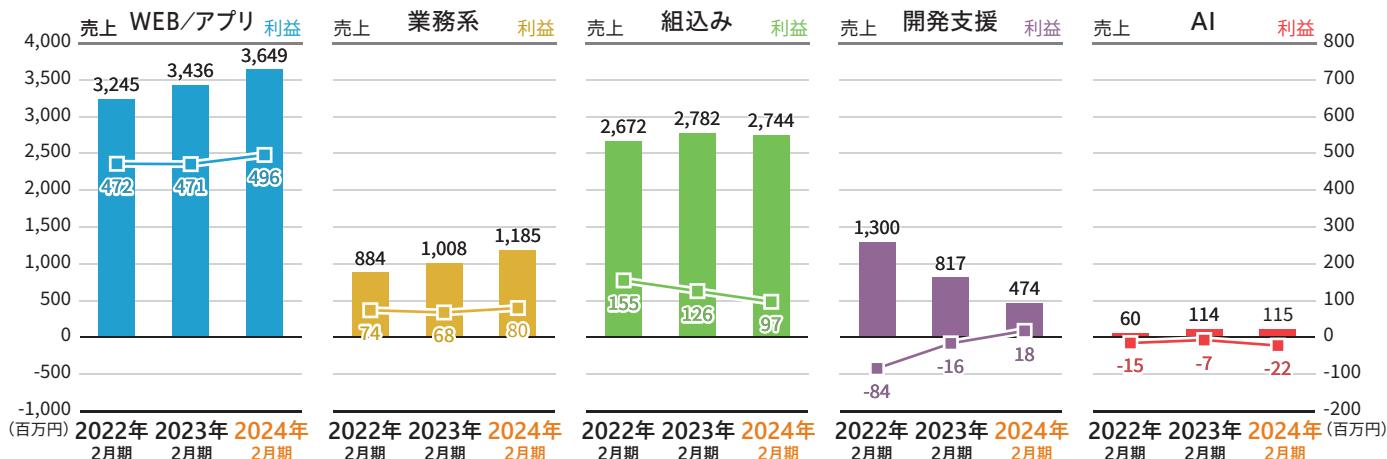


## 売上構成比：事業内容別



(注) 小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がございます。

## 売上・利益推移：事業内容別



(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を2023年2月期の期首から適用しており、2023年2月期以降に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

# トピックス／中期経営計画

## 動画コマース領域でのAI活用のためパロニム社と資本業務提携

### Tig×AIによる 新しい購買体験の創出



パロニム社『Tig』  
(動画ソリューション)



ソーバル『AI技術』  
(生成AI、Deep Learning)

#### 動画コマース領域

動画やライブ配信で消費者とコミュニケーションを取りながら商品を買わせる方法

### 新しい収益源の開拓

2024年3月19日、新たにパロニム社と資本業務提携を締結いたしました。

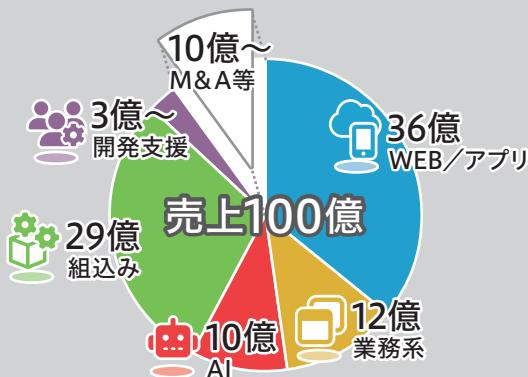
パロニム社がもつインタラクティブ動画サービスに、当社のもつAI技術を搭載することで、課題の解決に取り組めます。

こちらの提携により、一時的にAI人材をパロニム社の案件に集中投入し、早期のローンチを目指します。

このようなことから、AIエンジニアの既存売上が一時的に減少することになりますが、この取り組みは今までのソーバルにはない、新しい収入源になるものと期待されています。

## 中期経営計画：経営目標

### 2027年2月期 売上目標



## 中期経営計画：主要施策

AIを成長の柱と位置付け、人材の育成と販路の拡大に努めます。

AIを  
成長の柱に

10億

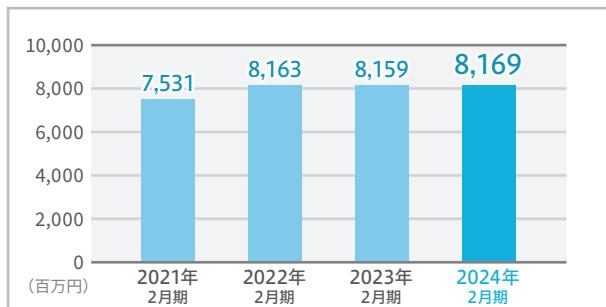
1億

2022年

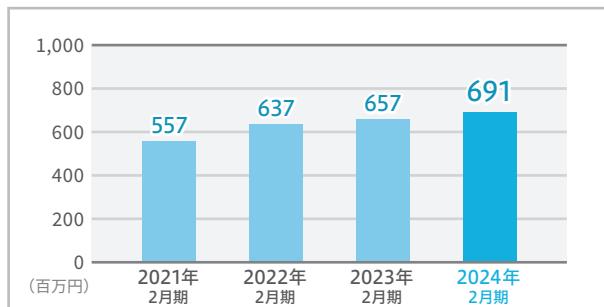
2027年

# 業績ハイライト (連結)

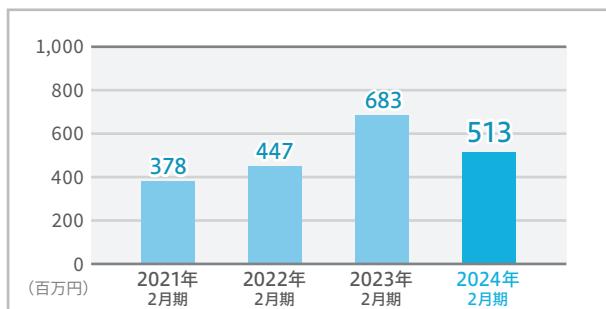
## 売上高



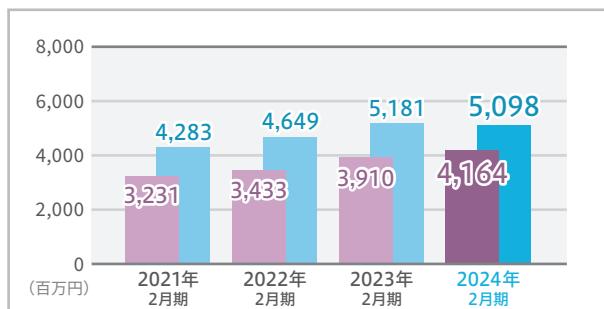
## 経常利益



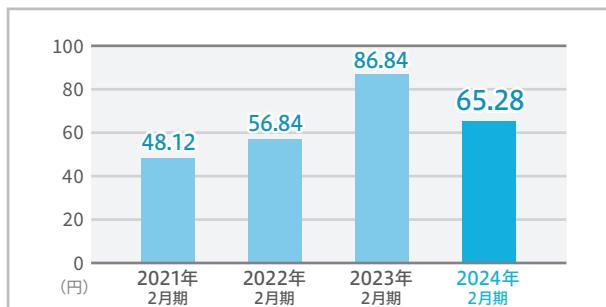
## 親会社株主に帰属する当期純利益



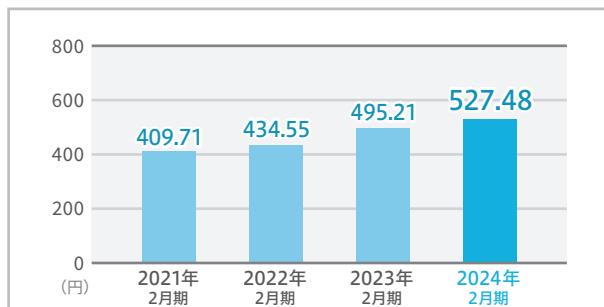
## 純資産 / 総資産



## 1株当たり当期純利益



## 1株当たり純資産



(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を2023年2月期の期首から適用しており、2023年2月期以降に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

# 財務諸表 (連結)

## 貸借対照表

(単位:千円)

科 目	2023年 2月期	2024年 2月期	科 目	2023年 2月期	2024年 2月期
( 資 産 の 部 )			( 負 債 の 部 )		
流動資産	4,390,078	4,357,594	流動負債	1,125,496	796,522
固定資産	791,630	740,844	固定負債	145,362	137,257
			負 債 合 計	1,270,858	933,780
			( 純 資 産 の 部 )		
			株主資本	3,895,914	4,149,851
			新株予約権	14,935	14,807
			純 資 産 合 計	3,910,850	4,164,658
資 産 合 計	5,181,708	5,098,438	負 債 純 資 産 合 計	5,181,708	5,098,438

## 損益計算書

(単位:千円)

科 目	2023年 2月期	2024年 2月期
売上高	8,159,159	8,169,683
売上原価	6,535,251	6,555,923
売上総利益	1,623,907	1,613,760
販売費及び一般管理費	980,496	942,793
営業利益	643,410	670,966
営業外収益	18,068	20,395
営業外費用	4,459	127
経常利益	657,019	691,235
特別利益	373,505	128
特別損失	22,632	-
税金等調整前当期純利益	1,007,892	691,363
法人税等合計	324,667	177,806
当期純利益	683,224	513,556
親会社株主に帰属する当期純利益	683,224	513,556

## キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	2023年 2月期	2024年 2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	525,461	95,987
投資活動によるキャッシュ・フロー	400,460	△17,268
財務活動によるキャッシュ・フロー	△262,372	△258,633
現金及び現金同等物の増減額	663,550	△179,914
現金及び現金同等物の期首残高	2,461,756	3,125,306
現金及び現金同等物の期末残高	3,125,306	2,945,391

# 株主優待／配当金

## 株主優待について



毎年8月31日時点で、1単元(100株)以上の株式を保有する株主様に対し、QUOカードを贈呈いたします。

対象	8月31日(基準日)に 1単元(100株)以上ご所有の株主様	
実施回数	年1回	
優待内容	1単元(100株)以上、 10単元(1,000株)未満	500円相当の QUOカード
	10単元(1,000株)以上	2,000円相当の QUOカード

## 配当について

期末配当金領収証(振込ご指定の方には期末配当金計算書等)は、本書とともに同封されております。

### 2024年2月期 期末配当

期末配当金	16.5円
期末配当 株主確定日	2024年2月29日
支払開始日	2024年5月30日

### 2025年2月期 配当予想

中間配当金	16.5円
中間配当 株主確定日	2024年8月31日
期末配当金	16.5円
期末配当 株主確定日	2025年2月28日

### 1株当たり配当金推移



(単位:円)	1株当たり配当金			配当性向 (連結)
	中間配当	期末配当	年間	
2024年 2月期	16.5円	16.5円	33.0円	50.6%
2025年 2月期予想	16.5円	16.5円	33.0円	61.8%

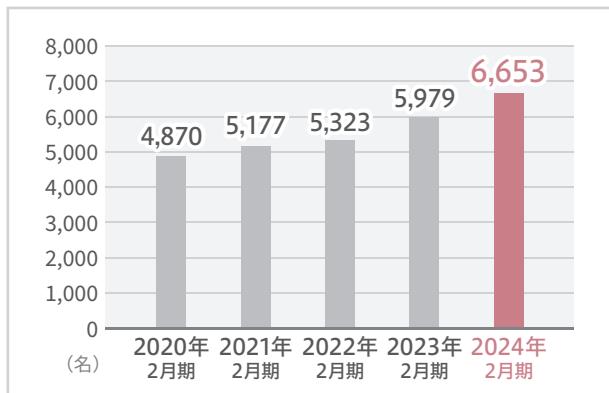
# 株式基本情報／株主情報

## 株式基本情報

証券コード	2186
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場
事業年度	毎年3月1日から 翌年2月末日まで
配当支払株主 確定日	中間：8月31日 期末：2月末日
株主総会	毎年5月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
単元株式数	100株
発行可能株式総数	29,600,000株
発行済株式総数	8,167,498株 (2024年2月29日現在)
株主数	6,653名 (2024年2月29日現在)
公告方法	電子公告 (事故その他やむを得ない事由が生じ、電子公告 を行うことができない場合には、日本経済新聞 に掲載します)

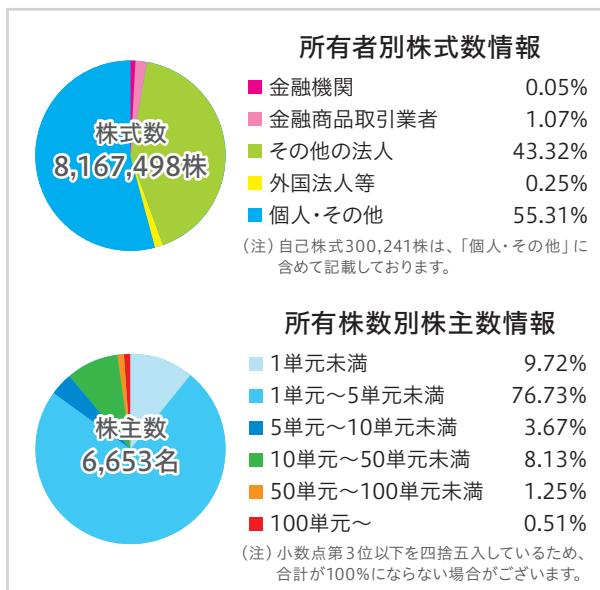
## 株主数推移

(2024年2月29日現在)



## 株式分布状況

(2024年2月29日現在)



## 大株主

(2024年2月29日現在)

株主名	持株数	持株比率
エバーコア株式会社	3,480,000株	44.2 %
ソーバル従業員持株会	691,800株	8.8 %
川下 奈々	397,480株	5.1 %
推津 敦	397,480株	5.1 %
町田 泰則	43,000株	0.5 %
推津 幸子	40,040株	0.5 %
和田 位	35,500株	0.5 %
マネックス証券株式会社	34,144株	0.4 %
新海 秀治	32,700株	0.4 %
上田八木短資株式会社	28,300株	0.4 %

(注) 持株比率は、自己株式数(300,241株)を控除して計算しております。

# 会社情報 / 株式手続き

## 会社概要

(2024年2月29日現在)

社名	ソーバル株式会社
設立	1983年1月
本社所在地	〒141-0001 東京都品川区北品川5-9-11大崎MTビル
資本金	214百万円
事業内容	エンジニアリング事業 ・アプリケーション開発 ・WEB・クラウド開発 ・組み込み開発(ソフトウェア・ハードウェアの設計開発) ・マニュアル制作
従業員数	連結:889名 単体:743名
公式サイト	<a href="https://www.sobal.co.jp/">https://www.sobal.co.jp/</a>

## 株式手続き

住所変更、配当金受取方法の指定、  
単元未満株式の買取・買増請求等

口座を開設されている証券会社へお問合せください

未払配当金の支払請求、郵送物の発送・返戻について  
特別口座に記録された株式について

三菱UFJ信託銀行株式会社(証券代行部)へお問合せください

テレホンセンター：0120-232-711

受付時間：9:00～17:00(土日祝休み)

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

【郵送物送付先】

〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

## 役員紹介

(2024年5月29日現在)

取締役	
代表取締役社長	推津 敦
取締役	東谷 正雄
取締役	山林 敬
取締役	島谷 裕一
取締役(社外取締役)	高木 友博

監査役	
常勤監査役	両瀬 賢一
監査役(社外監査役)	鴛海 量明
監査役(社外監査役)	河崎 健一郎

執行役員	
執行役員	稲葉 勝巳
執行役員	河原 浩一
執行役員	大久保 仁美
執行役員	西岡 建太
執行役員	杉山 義雄
執行役員	井上 一幸
執行役員	濱田 修

 ソーバル株式会社	 IRサイト	 お問合せ
ソーバル IR情報		<a href="https://www.sobal.co.jp/ir/">https://www.sobal.co.jp/ir/</a>